

荷主企業物流担当者と運送事業者の意見交換会（分科会）開催報告

荷主企業側の選出が難航していることから、今回は運送事業者の実務担当者から取引環境、労働時間及び諸問題について意見交換を行った。

- 1 開催日 平成29年12月15日（金） 18：00
- 2 場所 大分センチュリーホテル
- 3 参加者 （公社）大分県トラック協会
鉄鋼・食料品・工業品部会及び青年部会員の実務担当者 8名
- 4 内容 (1) 主旨説明
(2) 自己紹介
(3) 意見交換
 - ① 労働環境の実態について
 - ・ 告示違反等・荷主都合の待機時間・ドライバー不足の実態
 - ・ 荷主との交渉の有無と結果
 - ② 政府、関係行政への要望事項について
- 5 出された意見
 - ① 労働環境の実態について
 - ・ 待ち時間の削減は、荷主に言い続けて、理解していただかないといけない。
 - ・ 人手不足のため、荷物を運びたくても運ぶことができない。
 - ・ 高速道路のPAは、夜はどこも駐車場がいっぱいになり、入れないため30分の休憩が取れない。ETC料金割引の時間帯を前倒しにできないか。
 - ・ 個々で荷主に言う(訴える)のは難しい。
 - ・ 九州では運賃の値上げ等の交渉を行うと仕事をなくしてしまう。
 - ・ 荷主運送事業者との交渉で運賃の値上げと時間の短縮の為の検討を重ね、スタートのはずだったが、責任者がいきなり転勤になって、結局反故になってしまった。
 - ・ ドライバー募集を求人サイト等に切り替えた結果、少しではあるが応募があった。
 - ② 政府、行政への要望事項について
 - ・ 行政からの荷主に対する運送約款改正に対する継続的な広報は必要である。
- 6 今後の予定
 - (1) 荷主企業への参加の働きかけ
 - (2) 第2回分科会の開催（平成30年2月上旬）